

街路事業の再評価概要書

番 号

2

事業主体

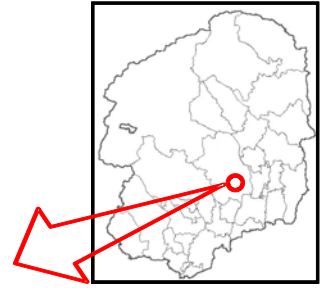
栃 木 県

()は当初計画時

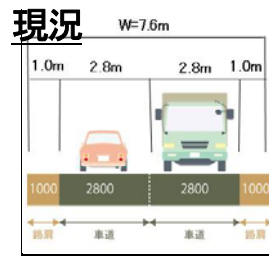
事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	宇都宮都市計画道路 3・3・1号 鹿沼宇都宮線 (主要地方道 宇都宮真岡線)		事業箇所名	宇都宮市 下栗町	
事業区間	宇都宮市下栗町		事業延長	1,344m	
S7都市計画決定 (S46、H20年度変更)	H17年度 事業化		H17年度 用地着手	H20年度 工事着手	
事業期間	(H26) H17年度～H29年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成26年度末時点】		
[うち用地補償費] 全体事業費	[33.8(32.0)億円] 49.3(42.0)億円		進捗率 [うち用地補償費] [33.7億円] [99%] 既投資事業費 47.5億円 96%		
事業概要					
<p>宇都宮都市計画道路3・3・1号鹿沼宇都宮線は、東北自動車道鹿沼インターと新4号国道（宇都宮環状道路）を結び、宇都宮市街地の都市活動を支える重要な幹線道路であり、鹿沼市、宇都宮市、真岡市の連携を図る上でも重要な路線である。</p> <p>事業箇所は、朝夕を中心に交通量が非常に多いにもかかわらず、車線が2車線のみであり、各交差点に右折車線がないため渋滞が発生しており、主要渋滞箇所に指定されている。また、横川東小学校の通学路に指定され、かつ中高一貫の宇都宮東高校の自転車での通学経路となっているにもかかわらず、歩道等が未整備であることから、自動車と通学児童・自転車等が錯綜して非常に危険な状況となっており、事故危険箇所に指定されている。</p> <p>これらの課題に対応するため、バイパス及び現道拡幅による車道の4車線化と歩道等の設置を行うことにより、交通混雑の緩和及び自転車歩行者の安全で快適な通行空間の確保による良好な都市空間の創出を図ると共に、災害時の緊急輸送路の確保による都市防災機能の向上を図るものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
特になし					
事業の投資効果					
1 費用対効果分析結果		【総便益(B)】		【総費用(C)】	
(1)事業全体 B/C = 2.8		154.8億円		55.0億円	
(2)残事業 B/C = 61.6		154.8億円		2.5億円	
2 事業の整備効果等					
・都市間の連携強化		・現道における渋滞緩和			
・歩行者・自転車の安全で快適な通行空間の確保		・救急救命活動や都市防災機能の強化			
事業の進捗状況等					
1 事業の進捗状況					
・現道拡幅部分 (L=444m) の大部分で自転車歩行者道が整備され、歩行者自転車の安全性が改善された。					
・バイパス部分 (L=900m) の用地取得が完了したため、バイパス工事を鋭意推進中である。					
2 今後の事業進捗の見込み					
・今後も残る用地取得を推進して順次工事を進め、平成29年度を目標に事業完了を図る。					
コスト縮減等					
1 コスト縮減方策					
・路盤材、アスファルト合材に再生材を活用し、コストを縮減。					
2 代替案立案等の可能性					
・既にほとんどの用地を取得して工事を進めているところであり、都市の骨格を形成する「放射道路」として都市計画の諸手続きを経て整備しているため、現計画が最適である。					
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。			

事業箇所（位置図・概要図）

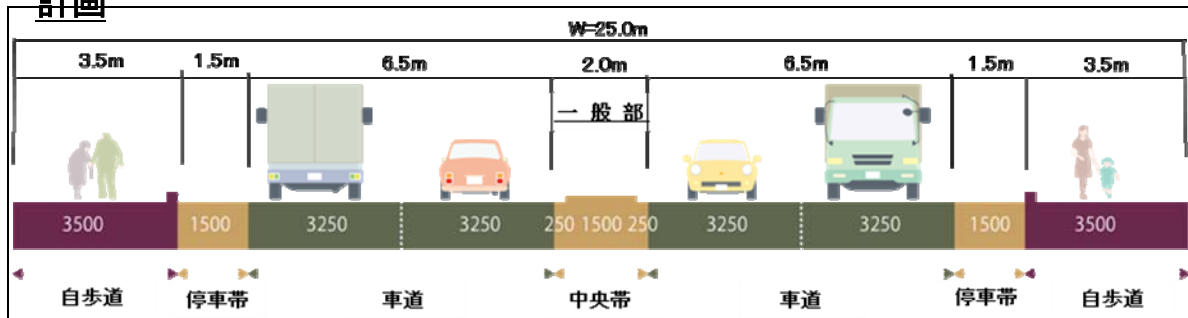
位置図



標準横断図



計画



概要図



① 現道の状況 ミットヨ前付近



② 現道の状況 恵光寺前付近



③ 現道拡幅部 工事前



④ 現道拡幅部 工事後(暫定)

